

2. 職場での男女共同参画 ～お互いの認め合いで変わる働き方～

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の必要性

ひとりひとりが仕事に責任を持ち、家庭や地域生活などにおいてもライフステージに応じて多様な生き方が選択・実現できることは大切です。仕事と生活についてどんなバランスが良いのかは、人により違いますし、同じ人でもその時の状況によっても変わります。自分が望むバランスのとれた生活の実現のためには、周囲の理解が必要になります。職場ではお互いに気持ちよく仕事をするためにも、普段からのコミュニケーションを大切に、お互いにカバーし合える関係性作りを心掛けてみてはどうでしょうか。



女性が活躍するために

女性は能力があっても、妊娠・出産するかもしれないからと、責任ある仕事からはずされることを「ガラスの天井」といい、子育て中の女性が、昇進や昇格からは縁遠いキャリアコースで働くことになることを「マミー・トラック」といいます。男女にかかわらず、子育てをしてもやりがいのある仕事を任せられ、それをやり遂げたい気持ちは同じです。もしかしたら企業側は、子育てと仕事の両立の大変さを気遣っているかもしれませんが、しかし社員の中には子育てを理由に責任ある仕事から外れてしまうのではなく、子育てを通じて経験したことを仕事に活かしたいと考えている人もいます。職場の「過剰な配慮」や職員の「過剰な権利の主張」からは何も生まれません。企業側と社員とがコミュニケーションをよくすることで問題解決したいものです。



P.04 の column
「子育てをすると、仕事もスキルアップする!？」
もぜひ参考にしてください。

column これって「死語」!?

こんな言葉は、いまでも使われているのでしょうか？

- **肩たたき**
職場で結婚をすすめる退職に追いやること。
- **腰掛け**
主に女性が、結婚までの短期間仕事するという働き方。
- **家事手伝い**
主に女性が、結婚前などに仕事につかず、家事を手伝いながら花嫁修業（これも死語かも）している時期のこと。



- **お茶くみ**
主に女性が、職場でお客様にお茶を汲む仕事。
- **職場の花**
主に若い女性が、職場で仕事の能力とは関係なく、存在することで職場に花がある雰囲気になるとのこと。男性社員の花嫁候補としてだけとらえられること。
- **寿退社**
結婚をきっかけに、主に女性が退職すること。
- **永久就職**
主に女性が、結婚して専業主婦になることをいう。現在は、「結婚しても仕事を続けてほしい」という男性が増えていく傾向があるなど、「結婚して専業主婦＝安泰」という考え方が少なくなっている。

男性の働き方改革

周囲の人から、「父親になったなら、これまで以上に仕事に打ち込まないとね」と声をかけられたことはないですか？父親になったからこそ、仕事も子育ても家事もやりたいと思っている男性もいます。企業が長時間労働を是正し、**ポジティブ・アクション**※により男女間格差を是正すれば、社員は互いに責任を分かち合いながら、家庭で家事・育児・介護等へ参画できるようになります。すると社員は労働時間内に効率よく仕事をし、生産性を上げ、企業イメージもアップ。その上、素晴らしい人材の確保ができ、費用対効果が上がるなど、企業のメリットもたくさんあります。また男性も、「仕事が忙しいから仕事の日には育児・家事ができない」という考え方を改め、「仕事の日でも育児や家事を行うために、仕事の段取りをする」というチャレンジをしてみてもどうでしょうか。



※「**ポジティブ・アクション**」とは、固定的な男女の役割分担意識や過去の経緯から、「営業職に女性はほとんどいない」「課長以上の管理職は男性が大半を占めている」等の差が男女労働者の間に生じている場合、このような差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取組をいいます。

column 子育てをすると、仕事もスキルもアップする!?

子育ては、想定外の連続です。それでもその状況を上手に調整しながら生活していると、おのずと身につく能力があるのです。その能力は、実は、仕事でも充分活かすことができるのです。

「子どもと共に、親も成長する」ということをよく耳にしますが、「まさか、親の仕事の能力までも伸ばしてくれるのか?」と思ったあなた!子育てを実践してみてくださいませんか?

時間管理能力 子どもは予定通りに動きません。想定外の事故のようなことが起こっても動揺せず、問題解決して用事を済ませることができるようになります。

企画力 子育てを通じて、これまでになく多くの人の出会いがあり、これまでの自分ない発想が湧いてきます。新しい発想は、新しい企画提案や、新しい問題解決力へとつながります。



プロデュース力 子どもは些細なことで、良いことをほめて育てれば伸びます。同様に、職場のスタッフの個性をうまく活かすことは、業績アップにつながります。

連絡調整能力 子育てはたくさんの人の協力があると、心強いです。たくさんの人に協力してもらいながら、余裕をもって子育てするうちに、連絡調整能力も高くなります。

忍耐力 子どもはなんでもすぐに出来るようになりません。子どもとかかわっていると、「待つ」ということが多くなります。部下を育てると同様だと思いますか?